

ae 社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

第 78 号 令和 5 年(2023 年)10 月 31 日
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会
〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15
Tel (6848) 1000 FAX (6848) 1005
URL: <http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>
E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

ボランティアグループ紹介

新型コロナウイルス感染症が5類扱いになり、ボランティアグループの活動も活発になってきております。今回は豊中市社協ボランティア団体連絡会に参画しているボランティアグループの取り組みをご紹介します。

豊中市社協ボランティア団体連絡会

平成4年に、市内のボランティア活動団体が、「豊中市社協ボランティア団体連絡会」を結成いたしました。現在は、37のボランティア団体が参加しています。市民活動団体の組織としては、市内で最も大きなもので、各団体は高齢者や障がい者、子ども等を対象に、各々の特性を活かして多くの分野で活発に活動しています。また、加盟団体の構成層は、多世代そして多岐にわたっていて、幅広い市民の協働・共生の場となっています。この連絡会は、ボランティア情報の提供・加盟団体間の情報交換や連携活動の促進・会員相互の交流・ボランティア活動の啓発事業の企画と実施などを目指しています。「豊中ボランティアフェスティバル」の開催など、ボランティアセンターを中心に積極的な市民活動を行なっています。



活動
写真



ボランティアフェスティバル



募金活動



連絡会



災害支援訓練



福祉体験学習

◎活動に興味のある方はお問い合わせください。
※市社協ボランティア団体連絡会には今回ご紹介のグループ以外も含めて計37団体が参加しています。
☆お問い合わせ
豊中市社会福祉協議会ボランティアセンター「ぷらっと」
豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)
☎ 06-6848-1000



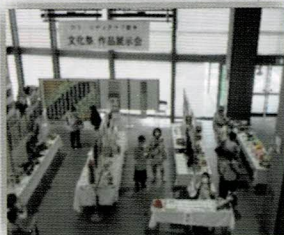
TERVE 北大阪

TERVE 北大阪は豊中市を中心に安全な全身運動である「ノルディック・ウォーク」の普及振興を通して、活動しているグループです。ノルディック・ウォークは北欧で生まれ、日本人が改良したスポーツです。ただ、両手に専用のポールを持ちながら歩くだけです。主な活動は豊中市の豊島公園で、ノルディック・ウォークやポールを使った体操をしてもらっています。参加者は年齢や性別はもちろん、障がいをお持ちの方も参加されることがあります。ほかにも北摂地域で、時期に合わせて花見ウォークや観光スポットを巡るイベントも開催しています。月に1日くらいはポールを使った全身運動で一生懸命歩いてみませんか！



コミュニティークラブ豊中

「会員相互の健康と親睦を図るとともに、地域社会における交流及び地域社会への貢献を推進する」という会の目的に沿った活動を行っています。(9月末会員数 224名)
 *主な年間行事：懇親会、文化祭、バス旅行、食べ歩き、繁昌亭観劇、スポーツ大会等
 *サークル活動：ハイキング、グラウンドゴルフ、写真、水彩画、歌体操等 16サークル
 *ボランティア活動：老人施設での交流ボランティア、地域行事への参加、寄付、募金等



SA とよなか (シルバーアドバイザー)

高齢者施設や小学校、幼稚園などでおもちゃ作りや折り紙、マジック、歌体操、腹話術など多彩な活動をしています。また、地域で開催されるフェスタやまつりなどイベントに参加し、市民の皆さまとの交流を図っています。



ぐるぐるアート豊中世話人会

ありがとう

声に出せなくても

文字になら書けることもある

思いついた ありがとう を書けばいい

書くことによって見えてくる

小さなものが見えてくる

山の向こうが見えてくる

いつしか

迷いが整理され

気づいてみると

自分が見えてくる

心はあとからついてくる

ぐるぐるアートに秘められた不思議



助け合い制度「コープむつみ会」

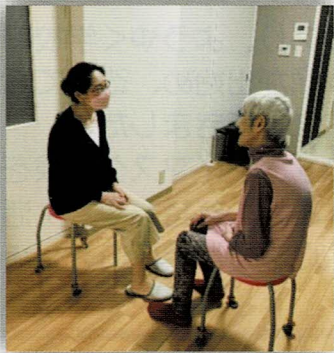
助け合い制度「コープむつみ会」は、1984年に発足。「住み慣れた地域で安心して老後を暮らしたい」というコープこうべ組合員の声から始まった組合員どうしの助け合い活動です。有償で家事支援や通院同行などの活動を行いながら、会員どうしの学びとなる学習会も開催しています。ぜひみなさんも一緒に活動しませんか。

ガールスカウト豊中地区協議会

ガールスカウトでは、自分自身と他の人々のためにできることを考え、行動につなげられるよう、少女から大人まで、様々な年代と一緒に活動し、人や自然との関わりの中で命を大切にし尊重する心、自他を助けるための知識と技を磨く「そなえよつねに」世界的視野を広げ世界課題への取り組みなど、様々な体験を通して自ら考え行動する力、リーダーシップ能力、高い自己肯定感を育みます。

小さな手

「小さな手」は介護用品や、介護者(家族)の会の方に年に1度プレゼント等を作成しています。介護用品はすこやかプラザ1階ロビーのケースに常時展示し販売もしています。また、健康展やいきてゆくフェスなどのイベントでもブースをいただき販売していますので是非立ち寄ってみてください。月2回12名のメンバーで和気あいあい楽しく活動しています。只今メンバー募集中。興味のある方は一度覗いてみてください。



ステッキ

高齢者の個別支援はずっと続けています。お一人暮らしでの不安や、お困りごとの相談相手に心をくだいております。学校でのインスタントシニア体験講座がこの秋から多くの学校から依頼が入り、多くの若い人達に高齢者の日々の暮らしの一端を知っていただきボランティアへの関心を高めてくれる一助となればと思っています。多くないメンバーでフル稼働で頑張っています。

いきいき歌体操 さわやか

『寝たきりにならない させない つくらない』のスローガンで活動をしています。定例会では参加者同士、楽しく歌って笑って体操し、自身の健康維持・介護予防・リハビリ・認知症予防を目的とされる方と、歌体操のリーダーとなり、施設などへの訪問ボランティアとして活動されている方がいます。歌のもつ力、すなわち「心が動けば体が動く」体験を私たちといっしょにしませんか！！



ズームイン

「ズームイン」はビデオ映像を通じて多くの人にボランティア活動の内容と実情を知ってもらおうと、「福祉関連ビデオ」の制作を目的として1992年(平成4年)に結成されました。現在も、社協の事業を記録しながら、市の福祉関連事業・ボランティアグループ・作業所・地域などのボランティア活動取材してDVDを制作しています。コロナウイルスの影響で活動を休止していましたが、今年度から活動を再開しました。ビデオ編集の趣味を持たれる方の参加をお待ちしています。

アクセス

市社協とともにボランティアセンター『ぷらっと』Facebook&ホームページを運用しています。ボランティア募集などボランティア関連情報の発信を主な目的としたグループです。各ボランティア団体のイベント告知や活動内容の広報も実施していますので、Facebook掲載ご希望の団体は市社協までご連絡ください。情報発信に加えPCソフト・スマホアプリをメンバー同士で教え合うなど、月二回和気あいあいとした雰囲気です活動しています。



聴くの会

豊中市在住の独居老人・家族同居の方でも昼間はひとり暮らし・その他、ご希望の方にお電話をお掛けしています。楽しいこともお悩みも、どのような内容でもじっくりとお聴きし、お相手をさせていただきます。心で相手のお話をお聞きするという「聴くの会」の精神を学び修養しつつ、私達会員は電話を通して共に安心・喜び・楽しさを育てていく事を目的として活動しています。



みちしるべ

コロナ騒ぎが終息を迎えつつあり、ようやく学校関係からのボランティア体験学習の依頼が出始め、改めて活動できることの喜びを感じるようになってきました。

私たち「みちしるべ」は車いす、アイマスク体験を通じて、子供たちにそれを必要とする人の気持ちや、生活を少しでも感じて思いやりのある人になるお手伝いをしたいと思うグループです。



そよかぜ

「そよかぜ」は子育て・家事などのお手伝いを行っています。また、1才半検診・交流会・講演会などの保育のお手伝いを行っていますが、コロナ禍で現在は中断しています。グループ発足から20年、無理せず、楽しみながら自分に合ったやりかたで活動しています。一人でも困っている方々のお手伝いをすることで地域の方々の力になりたいと思っています。気軽に活動に参加してみてください。



豊中アッシー

主に高齢者の方々への車による送迎のボランティアグループです。各校区で行われる月毎のサロン・食事会・ぐんぐん元気塾体操などに参加される方を自宅から地区会館などへ送迎しています。送迎回数はコロナ禍の影響で以前に比べて減りましたが、毎回元気に参加される利用者の方々がおられます。ドライバーも高齢化が進み、メンバーの若返りなどが課題となっていますが、これからも安全第一の運転を心掛け、利用者の健康維持と楽しい時間が過ごせるように活動を続けていきたいと思っています。



まどか

活動内容は大きく2つ、豊中親和会後援会へ手作り小物作品を作りバザー等に協力。日本キリスト教海外医療協力会へ使用済み切手等を回収整理して届けています。現在、豊中市社協ボランティアセンター『ぷらっと』にて基本月2回の定例会を開いています。



豊中手話サークル あさなぎ

私たちは聴覚障がい者と聴者との交流や親睦を深めると同時に手話やろうあ問題を学び、正しい理解を社会に広めることを目的としています。

定例会を開催し、豊中市身体障害者福祉会ろうあ部会と協力して活動を進め、手話講習会や小・中学校の手話体験のサポートなどのボランティア活動、そして他のサークルとの交流を深めています。興味のある方はぜひ、見学にお越しください。



庄内手話サークル 虹

今年 2 月に庄内コラボセンターに活動場所が移転し、ちょっとアクセスが良くなりました。会員数 17 名という小さなサークルですが、お互いの顔が見えるアットホームな雰囲気楽しく活動しています。

コロナにはまだ注意が必要ですが、3 年ぶり 1 日体験講習会を開くことができました。また、小学校等の体験学習も増えてきています。今後は地域のろう者との交流会も考えています。



手話サークル トマト

私たちは毎週金曜日 19 時から豊中市障害福祉センターひまわりで活動しています。手話初心者からベテランまで約 20 名が所属し、主な活動内容は手話の学習や交流です。

仕事や学校などで忙しく毎週は参加できないメンバーも多いですが、とてもアットホームな雰囲気に参加した日は皆さん笑顔で帰られます。話に興味がある方は是非一度見学にいらしてください。

豊中筆記通訳グループ ダンボ

聴覚障がい、特に中途失聴や難聴者に音声文字で伝え、社会参加できることを目的に活動しています。

手話で通じる、補聴器や人工内耳で全て伝わるという誤解が多いなか、他人からわかりづらい困難さを正しく理解してもらえよう啓発にも努めています。

点字サークル つくしんぼ

3 年ぶりに初心者点字講習会を再開。市内各小中学校への体験学習も少しずつ増加しつつあります。また 37 年間続けている全国の視覚障がいの方へのカレンダー点訳・送付も年々減ってはきているものの、需要がある限り会員一同力行のみ！

大阪声のグループ

- ① 障がいなどにより活字読書が難しい方たちの為に録音図書（CD）を作成しています。
 - ・豊中市からの依頼図書
 - ・声の広報「とよなか」の録音、ダビング及び発送
 - ・自主制作（話題の本、シリーズ物など）
 - ・個人からの依頼によるもの
- ② 勉強会（講師による指導、全員の自主勉強）
- ③ 毎月機関紙の発行

ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターは子育ての援助が必要な人と子育ての援助ができる人とを結びつける会員制の育児支援ネットワークです。子どもの送迎や預かりなどの活動にぜひご協力ください。まずは会員登録が必要です。下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】 TEL：06-6841-9383 FAX：06-6841-2388

とよなか地域ささえ愛ポイント事業

活動登録者が、対象となる社会貢献活動を行うことで、ボランティアの楽しさを知ってもらい、自身の健康づくり、また地域の福祉施設・福祉活動への理解を深めてもらい、介護予防の推進を図る事業です。活動実績に対してポイントが付与され、ポイント数に基づき、年 1 回活動支援金として還元されます。

【活動登録説明会】

日 時：第 1 月曜日、第 4 火曜日 どちらも 10 時～12 時

場 所：豊中市すこやかプラザ 2 階会議室

対 象：豊中市在住の満 65 歳以上の介護保険第 1 号被保険者

申込み：事前予約制（電話：06-6848-1000）

みなさん、介護予防のため、ボランティア活動しませんか。まずは説明会にご参加ください



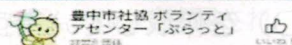
〈ボランティアに興味がある方は〉

○ボランティアセンターで登録

- ・ボランティア活動の紹介や登録後は毎月ボランティア募集をご自宅に送付します。
- ・窓口にて登録用紙に必要事項記入するだけで登録できます。
- ・登録後、興味がある活動があればボランティアセンターにお問い合わせください。ボランティア
依頼先と調整します。



豊中市社協ボランティアセンター 『ぷらっと』公式 Facebook ページ



〈ボランティア活動保険・ 行事保険のご案内〉

○安心してボランティア活動に取り組む為にボランティア補償制度があります。

① ボランティア活動保険（ボランティア活動中の事故等に備え、ボランティアの方が加入できる年間の保険）

⇒ボランティア活動を行う団体が対象

② ボランティア・市民活動行事保険（行事の主催者がスタッフ・参加者のケガや賠償責任を負った場合に備え、行事ごとにかかる保険）⇒行事の主催者が対象

※大阪府社会福祉協議会のHPからパンフレットが閲覧できます。

編集後記

長かったコロナ騒ぎも、ようやく終息に向かい、各ボランティアグループもコロナ以前の活動体制に戻つつあるのではと感じています。ただ、気になるのは、コロナ禍で構成メンバーが高齢化し、グループの運営に支障が出始めていることです。グループ内や、他のグループ間で知恵を出し合って、以前以上の活動力のあるボランティアグループになることを期待しています。

（みちる べ M.H）